

お客様最優先の技術開発を

取締役社長 米山 高範



1993年は、当社が創世時代の名前「小西屋六兵衛店」で、麴町に写真・石版材料商を始めてから120年目に当たります。この間、写真技術を基礎とした画像関連技術分野で、当社は常にそのリーダーとしての一翼を担って参りました。

その成果は国産初のカラーフィルム(1941年)、世界初の自動焦点カメラ(1977年)、日本初の乾式普通紙複写機(1971年)の開発として実を結び、その後も数多くの技術革新製品を市場に提供して来ました。

このように、当社の事業は写真をベースとした画像関連の技術分野を核としておりますが、すでに成熟したと思われる銀塩写真が、最近になって他分野の先端技術と見事に融合して、新しい製品を生み出しているのは驚くべきことです。写真画像がエレクトロニクス・光技術・コンピュータ・半導体と結合して、全く新しい画像の世界を作りつつあります。我々はこの分野

にも我々の持つ知識・能力を結集し、強化してゆかねばなりません。

さて、私が社長就任以来、常にお話している「お客様最優先」の考え方とは、製品開発が技術者の発想だけで行なわれる時代ではなくなり、研究開発段階から我々のお客様が真に必要なものは何かを追求し、製品化してゆくことです。その為に従来からの思想への訣別と新しい発想への切り替えをして頂きたいのです。

また更に必要なことは、我々の製品が開発・製造・販売され、さらにアフターサービス・回収・再利用という一連のサイクルの中で、地球資源の保護と環境保全という点にも充分配慮された技術開発を行なわなければなりません。

コニカはグッドカンパニーを目指します。その基礎となるのはすぐれた技術開発です。社員のひとりひとりに懸命の努力を要請すると共に、各界の皆様のご支援を期待して止みません。